

国立国語研究所学術情報リポジトリ

与論方言の音韻

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-11-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 木部, 暢子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002474

与論方言の音韻

木部 暢子*

1 はじめに

与論方言は奄美群島のいちばん南に位置する。行政上は鹿児島県に属するが、言語上は琉球語のうち、国頭語に位置づけられる。図示すると、以下のとおりである。

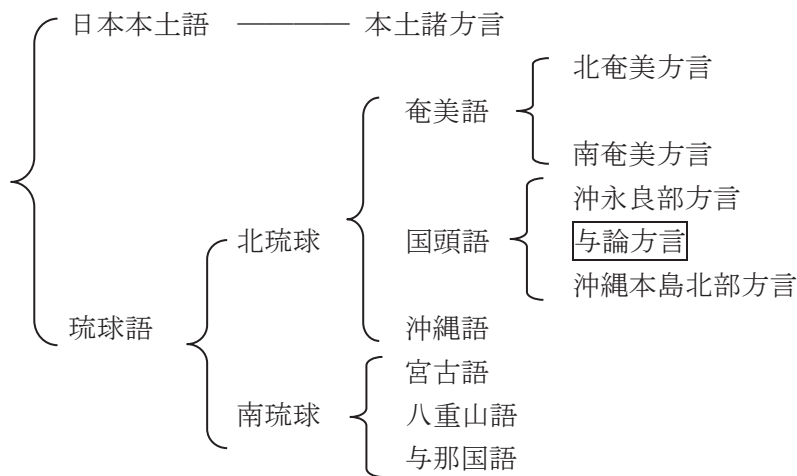


図1 与論方言の位置

与論島には、茶花、立長、城、朝戸、麦屋西区、麦屋東区、古里、叶、那間の9つの集落がある。以下では、2012年に実施した国立国語研究所共同研究プロジェクトの合同調査のデータから用例を拾い、与論方言の音韻の特徴を概観する。また、適宜『与論方言辞典』を参考にする。

2 母音

2.1 短母音

短母音は /a/, /i/, /u/ の3つで、/a/ は共通語の /a/ (ア) に、/i/ は共通語の /i/ (イ) と /e/ (エ) に、/u/ は共通語の /u/ (ウ) と /o/ (オ) に対応している。母音だけで音節を作るときには、声門閉鎖音 /ʔ/ を伴うこともあるが、常にというわけではない。表1に調査語の中から例をあげておく。(用例の「~」は同一話者での発音の揺れを、「/」は語形の違いを、「//」は話者による発音や語形の違いを表す。また、j, ɥ は母音が無声化していることを表す。以下同じ。)

* きべ のぶこ：国立国語研究所・教授

表1 短母音 /a/, /i/, /u/

	語	古里・那間・叶	茶花・立長	朝戸・城	麦屋
a	網(つな)	ʔan (ʔあん)	an (あん)	ʔam (ʔあむ)	an (あん)
	お母さん	amma: (あんまー)	amma: (あんまー)	amma: (あんまー)	amma: (あんまー)
	あくび	akubi (あくび)	akubi (あくび)	ʔakubi (ʔあくび)	ʔakubi (ʔあくび)
i	五つ	ʔiteitei (ʔいちち)	itejitej (いちち)	itejitej (いちち)	ʔiteitei (ʔいちち)
	板(いた)	ʔita (ʔいた)	itea (いちゃ)	itea (いちゃ)	ʔitea (ʔいちゃ)
	海老(えび)	ʔibi (ʔいび)	ʔibi (ʔいび)	ʔibi (ʔいび)	ʔibi (ʔいび)
u	上(うえ)	ʔui (ʔうい)	ʔui (ʔうい)	ui (うい)	ui (うい)
	音(おと)	ʔutu (ʔうとう)	ʔutu (ʔうとう)	utu (うとう)	utu (うとう)
	孫(まご)	ʔumaga (ʔうまが)	umaga (うまが)	umaga (うまが)	ʔumaga (ʔうまが)

少数だが、短母音 /e/ が現れることがある。[ɸyke] (ふけ：雲脂) については、別に [i:ki] (いーき) という方言形があり、[ɸyke] (ふけ) は共通語として使われたものと思われる。[tempura] (てんぷら) も [timpura] (ていんぷら) と発音されることがあり、[tempura] は共通語的な発音だと思われる。これらを除けば、調査語の範囲では、[ekkoj] (えっこい：喧嘩)、[koremunu] (これむぬ：食べもの)、[koren] (これん：食べる) に /e/ が現れた。

表2 短母音 /e/

	語	古里・那間・叶	茶花・立長	朝戸・城	麦屋
e	ふけ	i:ki (いーき)	ɸyke (ふけ)	ʔi:ki (ʔいーき)	ʔi:ki (ʔいーき)
	天ぷら	timpura (ていんぷら)	tempura (てんぷら)	tempura (てんぷら)	timpura (ていんぷら)
	けんか	ʔikkoi (ʔいっこい) ~ʔekkoj (ʔえっこい)	ikkoi (いっこい)	hekkoi (へっこい)	ekkoj (えっこい)
	食べもの	koremunu (これむぬ)	koremunu (これむぬ)	koremunu (これむぬ)	koremunu (これむぬ)

2. 2 長母音

長母音は /a:/, /i:/, /u:/, /e:/, /o:/ の5つである。与論方言には、1語(1形態素)は2拍以上の長さでなければならないという制約があり、「歯」「田」など共通語の1拍語は、与論方言では長音で発音される。これらの語は、複合語の要素になったときにも長音で発音される。例えば、「歯」は単独で [pa:] (ぱー)、複合語でも [pa:guki] (ぱーぐき：歯茎) である。/e:/ は共通語の /ai, ae/ に、/o:/ は共通語の /aw, au, ao/ に対応する。

表3 長母音 /a:/, /i:/, /u:/, /e:/, /o:/

	語	古里・那間・叶	茶花・立長	朝戸・城	麦屋
a:	杵(きね)	a:dzin (あーちん)	a:dzin (あーちん)	a:zin (あーちん)	a:dzin (あーちん)
	齒(は)	pa: (ぱー)	pa: (ぱー)	pa: (ぱー)	pa: (ぱー)
a:	田(た)	ta: (たー)	ta: (たー)	ta: (たー)	ta: (たー)
i:	錐(きり)	ʔi: (ゝいー)	i:(いー)	ʔi:(ゝいー)	i:(いー) ~ʔiji(ゝいーいー)
	手(て)	ti: (ていー)	ti: (ていー)	ti: (ていー)	ti: (ていー)
	血(ち)	tei: (ちー)	tei: (ちー)	tei: (ちー)	tei: (ちー)
u:	湯(ゆ)	ju: (ゆー)	ju: (ゆー)	ju (ゆ) / ju: (ゆー)	ju: (ゆー)
	帆(ほ)	pu: (ぷー)	pu: (ぷー)	pu: (ぷー)	pu: (ぷー)
e:	牛(うし)	je:nan (いえーなん)	je:nan(いえーなん) ~e:nan (えーなん)	ʔe:nan (ゝえーなん)	e:nan (えーなん)
	大根	de:kupni (でーくに)	de:kupni (でーくに)	de:kupni (でーくに)	de:kijni (でーきに)
	南(みなみ)	pe: (ぺー)	pe: (ぺー)	pe: (ぺー)	pe: (ぺー)
o:	粟(あわ)	ʔo: (ゝおー)	awa (あわ)	ʔo: (ゝおー)	ʔo (ゝおー)
	たわら	to:ra (とーら)	to:ra (とーら)	to:ra (とーら)	to:ra (とーら)
	ほうき	po:ki (ぽーき)	po:ki (ぽーき)	po:ki (ぽーき)	po:ki (ぽーき)
	竿(さお)	so: (そー)	so: (そー)	bo: (ぼー)	so: (そー)

2. 3 二重母音

二重母音には, /ai/, /ui/, /oi/ の3種類がある。以下に例をあげる。

表4 二重母音 /ai/, /ui/, /oi/

	語	古里・那間・叶	茶花・立長	朝戸・城	麦屋
ai	針(はり)	pai (ぱい)	pai (ぱい)	pai (ぱい)	pai (ぱい)
	稲(いね)	mai (まい)	mai (まい)	mai (まい)	mai (まい)
	小さい	ʔinsai (ゝいんさい)	ʔinsai (ゝいんさい)	insai (いんさい)	insai (いんさい)
ui	一人	teui (ちゅい)	teui (ちゅい)	teui (ちゅい)	teui (ちゅい)
	老人(ろうじん)	tʃusui (とうすい)	tʃusui (とうすい)	tusui (とうすい)	tueui (とうしゅい)
	男(おとこ)	wuiga (うういが)	wuiga (うういが)	wuiga (うういが)	ʃuiga (ふいが)
oi	笹(ざる)	soi (そい)	soi (そい)	soi (そい)	soi (そい)
	お祝い	joi (よい) ~jo:i (よーい)	joi (よい)	joi (よい)	joi (よい)

与論方言と共通語との母音の対応関係を図示すると、以下のようになる。

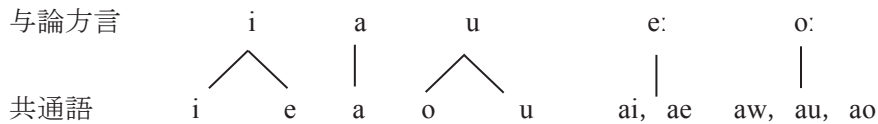


図2 与論島方言と標準日本語の母音の対応

3 子音

3.1 両唇音

両唇音には無声閉鎖音の /p/, 有声閉鎖音の /b/, 鼻音の /m/ がある。

3.1.1 両唇音 /p/

/p/ は共通語のハ行子音 /h/ に対応している。上代日本語では、ハ行子音は *p だったと推定されている (*は想定形を表す)。与論方言の /p/ はそれを伝えたものである。ただし、現在の与論方言の /p/ は閉鎖性がそれほど強くなく、両唇摩擦音の /ɸ/ で発音されることもある。例えば、「お祖母さん」は [pa:pa:] (ぱーぱー), または [ɸa:ɸa:] (ふぁーふぁー) と発音される。

また、/p/ は語頭に來るのが普通で、語中に來ることはあまりない。調査語の範囲では, [kɨpada] (きぱだ: 着物), [upusai] (うぷさい: 大きい), [ʔatca'apja:] (あちやあびゃー: 夫婦) などに語中の [p] が現れた。

表5 両唇音 /p/

	語	古里・那間・叶	茶花・立長
pa	お祖母さん	pa:pa: (ぱーぱー)~ ɸa:ɸa: (ふぁーふぁー)	pa:pa: (ぱーぱー)~ ɸa:ɸa: (ふぁーふぁー)
	鼻(はな)	pana (ぱな)	pana (ぱな)
	着物(きもの)	kɨpada (きぱだ)	kɨpada (きぱだ)
pa:	外(そと)	pa: (ぱー)	pa: (ぱー)
pi	にんにく	piru (びる)	piru (びる)
	大きい	ʔupicai (へうびしやい)~ ʔuɸicai (へうふしやい)	ʔupɨcɨai (へうぷしやい)
pu	冬(ふゆ)	pui (ふい)	pui (ふい)
pu:	穂(ほ)	pu (ぷ)	pu: (ぶー)
pe:	南(みなみ)	pe: (ぺー)	pe: (ぺー)
po:	ほうき	po:ki (ぼーき)	po:ki (ぼーき)

	語	朝戸・城	麦屋
pa	お祖母さん	pa:pa: (ぱーぱー)~ ɸa:ɸa: (ふぁーふぁ)	pa:pa:(ぱーぱー)
	鼻(はな)	pana (ぱな)	pana (ぱな)
	着物(きもの)	kipara (きばら)	kipara (きばら)

pa:	外(そと)	pa: (ぱー)	pa: (ぱー)
pi	にんにく	piru (ぴる)	piru (ぴる)
	大きい	uɸicai (うふいしゃい)~ upicai (うぴしゃい)~ upueai (うぷしゃい)	upusai (うぷさい)
pu	冬(ふゆ)	pui (ぷい)	pui (ぷい)
pu:	穂(ほ)	pu: (ぷー)	pu: (ぷー)
pe:	南(みなみ)	pe: (ぺー)	pe: (ぺー)
po:	ほうき	po:ki (ぽーき)	po:ki (ぽーき)

3. 1. 2 両唇音 /b/

/b/ は共通語の /b/ に対応している。語頭に來ることはあまりなく、多くは語中に現れる。語頭の /b/ の例に [be:ru:] (ベーる：蜻蛉), [bja:] (びゃー：菰) などがある。

表6 両唇音 /b/

	語	古里・那間・叶	茶花・立長	朝戸・城	麦屋
ba	尿(にょう)	ei:bai (しーばい)	ei:bari (しーばい)	ei:bai (しーばい)	ei:bai (しーばい)
	ぞうり	saba (さば)	saba (さば)	saba (さば)	saba (さば)
bi	首(くび)	kubi (くび)	kubi (くび)	kubi (くび)	kubi (くび)
	指(ゆび)	uibi (ういび)	?ujubi (ううゆび)	?uibi (うういび)	?uibi (うういび)
bu	油(あぶら)	?abura (あぶら)	abura (あぶら)	abura (あぶら)	abura (あぶら)
	冬瓜	eibui (しぶい)	subui (すぶい)	eibui (しぶい)	eibui (しぶい)
be:	とんぼ	be:ru: (ベーる)	be:ru (ベーる)	be:ru: (ベーるー)	be:ru (ベーる)

3. 1. 3 両唇音 /m/

両唇鼻音の /m/ は共通語の /m/ に対応している。以下に例をあげる。

表7 両唇音 /m/

	語	古里・那間・叶	茶花・立長	朝戸・城	麦屋
ma	豆(まめ)	mami (まみ)	mami (まみ)	mami (まみ)	mami (まみ)
	山(やま)	jama (やま)	jama (やま)	jama (やま)	jama (やま)
ma:	お母さん	amma: (あんまー)	amma: (あんまー)	amma: (あんまー)	amma: (あんまー)
mi	耳(みみ)	min (みん)	min (みん)	min (みん)	min (みん)
	夢(ゆめ)	?imi (いみ)	?imi (いみ)	jumi (ゆみ)	imi (いみ)
mi:	甥(おい)	mi:kk ^w a: (みーっくわー)	mi:k ^w a: (みーくわー)	mi:k ^w a (みーくわ)	mi:k ^w a: (みーくわー)
mu	腿(もも)	mumu (むむ)	mumu (むむ)	mumu (むむ)	mumu (むむ)
mu:	皆(みな)	mu:ru (むーる)	mu:ru (むーる)	mu:ru (むーる)	mu:ru (むーる)
me:	娘(むすめ)	me:rabi (めーらび)	me:rabi (めーらび)	me:rabi (めーらび)	me:rabi (めーらび)

mo:	藻(も)	mo: (もー)	mo: (もー)	mo: (もー)	無回答
-----	------	----------	----------	----------	-----

3. 2 歯茎音

与論方言の歯茎音には, /t/, /d/, /s/, /n/, /r/ がある。

3. 2. 1 歯茎音閉鎖音 /t/, /d/

歯茎閉鎖音(無声)の /t/ は, 共通語の /t/ に対応している。「短母音」のところで述べたように, 共通語の /e/, /o/ は与論方言では /i/, /u/ になるので, 与論方言の /ti/, /tu/ は共通語の /te/, /to/ に対応している。

表8 歯茎閉鎖音 /t/

	語	古里・那間・叶	茶花・立長	朝戸・城	麦屋
ta	蛸(たこ)	taɸu (たふ)	taɸu (たふ)	taɸu (たふ)	taɸu (たふ)
	肩(かた)	hata (はた)	hata (はた)	hata (はた)	hata (はた)
ta:	二つ	ta:teɪ (たーち)	ta:teɪ (たーち)	ta:teɪ (たーち)	ta:teɪ (たーち)
ti	太陽	tida (ていだ)	tida (ていだ)	tida (ていだ)	tida (ていだ)
	あさって	?asati (あさてい)	asati (あさてい)	asatti (あさてい)	asati (あさてい)
ti:	手(て)	ti: (ていー)	ti: (ていー)	ti: (ていー)	ti: (ていー)
tu	鳥(とり)	tui (とうい)	tui (とうい)	tui (とうい)	tui (とうい)
	鳩(はと)	patu (ぱとう)	patu (ぱとう)	patu (ぱとう)	patu (ぱとう)
to:	台所	to:gura (とーぐら)	to:gura (とーぐら)	to:gura (とーぐら)	to:gura (とーぐら)

歯茎閉鎖(有声)の /d/ は, 共通語の /d/ と /z/ に対応している。共通語の /z/ に対応する例に, [ada] (あだ:ほくろ), [hadi] (はでい:風) などがある。

表9 歯茎閉鎖音 /d/

	語	古里・那間・叶	茶花・立長	朝戸・城	麦屋
da	涙(なみだ)	mi:nada (みーなだ)	mi:nada (みーなだ)	nada (なだ)	nada (なだ)
	ほくろ	ada (あだ)	ada (あだ)~ado (あど)	?ada (あだ)	?ada (あだ)
di	風(かぜ)	hadi (はでい)	hadi (はでい)	hadi (はでい)	hadi (はでい)
	袖(そで)	sudi (すでい)	sudi (すでい)	sudi (すでい)	sudi (すでい)
du	戸(と)	jadu (やどう)	jadu (やどう)	jadu (やどう)	jadu (やどう)
du:	体(からだ)	du: (どうー)	du: (どうー)	du: (どうー)	du: (どうー)
de:	大根	de:kupi	de:kupi	de:kupi	de:kipi
	(だいこん)	(でーくに)	(でーくに)	(でーくに)	(でーきに)

3. 2. 2 歯茎摩擦音 /s/

歯茎摩擦音(無声)の /s/ は, 共通語の /s/ に対応している。/s/ は母音 /a, u/ の前では [s], 母音 /i/ の前では硬口蓋音の [ç], 母音 /e/ の前では [s] または [ç] で発音される。例えば, [çima] (しま:島), [nice:~nice:] (にせー~にしえー:青年) など。

表 10 歯茎摩擦音 /s/

	語	古里・那間・叶	茶花・立長	朝戸・城	麦屋
sa	酒(さけ)	sai (さい)	sai (さい)	sai (さい)	sai (さい)
	草(くさ)	kɯsa (くさ)	kɯsa (くさ)	kusa (くさ)	kɯsa (くさ)
si	島(しま)	ɛima (しま)	ɛima (しま)	ɛima (しま)	ɛima (しま)
	箸(はし)	paɛi (ばし)	paɛi (はし)	paɛi (はし)	paɛi (ばし)
si:	尿(しょう)	ɛi:bai (しーばい)	ɛi:bari (しーばい)	ɛi:bai (しーばい)	ɛi:bai (しーばい)
su	袖(そで)	sudi (すでい)	sudi (すでい)	sudi (すでい)	sudi (すでい)
	薬(くすり)	kɯsui (くすい)	kɯsui (くすい)	kusui (くすい)	kɯsui (くすい)
se:	青年 (せいねん)	ɲice: (にしえー)	ɲise: (にせー)~ ɲice: (にしえー)	ɲice: (にしえー)	ɲice: (にしえー)
so	ざる	soi (そい)	soi (そい)	soi (そい)	soi (そい)

3. 2. 3 歯茎鼻音 /n/

歯茎鼻音の /n/ は、共通語の /n/ に対応している。母音 /a, u, e, o/ の前では [n], 母音 [i] の前では硬口蓋音の [ɲ] で発音される。

表 11 歯茎鼻音 /n/

	語	古里・那間・叶	茶花・立長	朝戸・城	麦屋
na	夏(なつ)	natei (なち)	natei (なち)	natei (なち)	natei (なち)
	穴(あな)	?ana (あな)	ana (あな)	ana (あな)	?ana (あな)
na:	中(なか)	na: (な一)	na: (な一)	na: (な一)	na: (な一)
ni	鬼(おに)	?ɲipi (うに)	?ɲipi (うに)	ɲipi (うに)	ɲipi (うに)
	ひしゃく	ɲibu (にぶ)	ɲibu (にぶ)	ɲibu (にぶ)	ɲibu (にぶ)
ni:	荷(に)	ɲi:mutei (にーむち) / mi:mutei (みーむち)	ɲimutej (にむち)	mi: (み一)	ɲi: (に一)
nu	糠(ぬか)	nuka (ぬか)	nuka (ぬか)	nuka (ぬか)	nuka (ぬか)
	犬(いぬ)	inu (いぬ)	inu (いぬ)	?inu (いぬ)	?inu (いぬ)
nu:	何(なに)	nu: (ぬ一)	nu: (ぬ一)	nu: (ぬ一)	nu (ぬ)~nu: (ぬ一)
ne:	苗(なえ)	nae(なえ) / ne: (ね一)	nai (ない)	ne: (ね一)	ne: (ね一)
no:	昨日(きのう)	kino: (きの一)	kino: (きの一)	kino: (きの一)	kinno: (きんの一)

3. 2. 4 歯茎はじき音 /r/

歯茎はじき音の /r/ は、共通語の /r/ に対応している。

表 12 歯茎はじき音 /r/

	語	古里・那間・叶	茶花・立長	朝戸・城	麦屋
ra	瓦(かわら)	ka:ra (かーら)	ka:ra (かーら)	ka:ra (かーら)	ka:ra (かーら)

	娘(むすめ)	me:rabi (めーらび)	me:rabi (めーらび)	me:rabi (めーらび)	me:rabi (めーらび)
ri	これ	ɸuri (ふり)	ɸuri (ふり)	ɸuri (ふり)	ɸuri (ふり)
ri:	東(ひがし)	agari: (あがりー)	agari: (あがりー)	agari: (あがりー) / agari (あがり)	agaringata (あがりんがた)
ru	夜(よる)	juru (ゆる)	juru (ゆる)	juru (ゆる)	juru (ゆる)
	だれ	taru (たる)	taru (たる)	taru (たる)	taru (たる)
ru:	とんぼ	be:ru: (べーる)	be:ru: (べーる)	be:ru: (べーるー)	be:ru: (べーる)
re	食べもの	koremunu (これむぬ)	koremunu (これむぬ)	koremunu (これむぬ)	koremunu (これむぬ)
re:	あなた	?ure: (うれー)	ure:ganaei (うれーがなし)	ure: (うれー)	?ure: (へうれー)

3. 3 硬口蓋音

硬口蓋音には、破擦音（無声）の /c/ と破擦音（有声）の /ʃ/ がある。

/c/ は硬口蓋破擦音（無声）の [tɕ] で、共通語の /c/ に対応している。与論方言では、共通語の「チ」と「ツ」がどちらも [tɕ] で現れる。ただし、[katsuo]（かつお：鰹）のように新しい語には [tsu] の音が使われる。また、/c/ は /i+ta/ にも対応している。例えば、[itea]（いちゃ：板），[pittee:]（ぴっちえー：ひたい）など。

表 13 硬口蓋破擦音 /c/

	語	古里・那間・叶	茶花・立長	朝戸・城	麦屋
ca	茶碗 (ちやわん)	teabanu (ちやばぬ)~ tea:banu (ちやーばぬ)	teabanu (ちやばぬ)	teabanu (ちやばぬ)	tea:banu (ちやーばぬ)
	板(いた)	?ita (へいた) ~?itea (へいちゃ)	itea (いちゃ)	itea (いちゃ)	?itea (へいちゃ)
ca:	明日 (あした)	attea: (あつちやー)	attea: (あつちやー)	attea: (あつちやー)	attea: (あつちやー)
ci:	乳(ちち)	tei: (ちー)	tei: (ちー)	tei: (ちー)	tei: (ちー)
ci	かたつむり	teijnan (ちんにゃん)	teinnan (ちんなん)	teinnan (ちんなん)	teijnan (ちんにゃん)
	口(くち)	kutei (くち)	kutei (くち)	kutei (くち)	kutei (くち)
	爪(つめ)	teimi (ちみ)	teimi (ちみ)	teimi (ちみ)	teimi (ちみ)
	夏(なつ)	natei (なち)	natei (なち)	natei (なち)	natei (なち)
cu	鰹(かつお)	katsuo (かつお)	katsuo (かつお) お<新>	katsuo (かつお)	katsu: (かつー)
	一人	teui (ちゆい)	teui (ちゆい)	teui (ちゆい)	teui (ちゆい)
	苺(いちご)	iteubi (いちゆび)	iteumbi (いちゆんび)	iteubui (いちゆぶい) / iteumbi (いちゆんび)	?iteubu (いちゆぶ)
cu:	露(きり)	teu: (ちゆー)	teu: (ちゆー)	tsuju (つゆ)	teu: (ちゆー)

	急須 (きゆうす)	teu:ka (ちゅーか)	teu:ka (ちゅーか)	teu:ka (ちゅーか)	teu:ka (ちゅーか)
ce:	ひたい	piṭtee: (びっちえー) ~piṭteei (びっちえい) ~pitteai (びっちやい)	piṭtee: (びっちえー)	pittee: (びっちえー) / pikke: (びっけー)	piṭtee: (びっちえー)
co:	灸(きゆう)	jatteu: (やっちゅー)	jatteo: (やっちょー)	jatteo: (やっちょー)	jatteo: (やっちょー)

/ʃ/ は、硬口蓋破擦音(有声)で、音声的には [dʒ] の発音で、共通語の /z/ に対応している。また、/i+da/ にも対応している。例えば、[pidzai] (びちやい: 左) など。

表 14 硬口蓋破擦音 /ʃ/

	語	古里・那間・叶	茶花・立長	朝戸・城	麦屋
Ja	蚊(か)	gadzan (がちゃん)	gazan (がちゃん)	gadzan (がちゃん)	ga:dzan (がちゃん)
	左(ひだり)	pidzai (びちやい)	pidzai (びちやい)	pizai (びじやい)	pidzai (びちやい)
Ja:	鯨(くじら)	gu:dza: (ぐーぢゃー)	gu:dza: (ぐーぢゃー)	gu:dza: (ぐーぢゃー)	gu:dza: (ぐーぢゃー)
Ji	傷(きず)	kizi (きじ)	kizu (きず)	kidzi (きち)	kidzi (きち)
	筋(すじ)	eizi (しじ)	sudzi (すぢ)	eidzi (しぢ)	eidzi (しぢ)
Ji:	鼻血(はなぢ)	panadzi (ぱなぢ)	panadzi: (ぱなぢー)	panadzi: (ぱなぢー)	panadzi: (ぱなぢー)
Ju	溝(みぞ)	jindzu (いいんぢゅ) ~jundzu (ゆんぢゅ)	jindzu (いいんぢゅ)	jundzu (ゆんぢゅ)	mizipai (みじぱい)
Ju:	十人	dzu:pɪn (ぢゅーにん)	dzu:pɪn (ぢゅーにん)	dzu:pɪn (ぢゅーにん)	dzu:pɪn (ぢゅーにん)
Jo:	天井 (てんじょう)	tendzo: (てんじょー)	tindzo (ていんじょー)	tindzo: (ていんじょー)	tindzo: (ていんじょー)

3. 4 軟口蓋音

軟口蓋音には、無声閉鎖音の /k/ と有声閉鎖音の /g/ がある。

3. 4. 1 軟口蓋音 /k/

/k/ は共通語の /k/ に対応している。

表 15 軟口蓋音 /k/

	語	古里・那間・叶	茶花・立長	朝戸・城	麦屋
ka	貝(かい)	kai (かい)	kai (かい)	kai (かい)	kai (かい)
	お兄さん	jaka (やか)	jaka (やか)	jaka (やか)	jaka (やか)
ka:	瓦(かわら)	ka:ra (かーら)	ka:ra (かーら)	ka:ra (かーら)	ka:ra (かーら)
ki	肝(きむ)	kimu (きむ)	kimu (きむ)	kimu (きむ)	kimu (きむ)
	息(いき)	iki (いき)	iki (いき)	?iki (ゝいき)	?iki (ゝいき)

ki:	なまこ	ɕik̚ki: (しっきー)	ɕik̚ki: (しっきー)	ɕik̚ki: (しっきー)	ɕik̚ki: (しっきー)
ku	草(くさ)	k̚sa (くさ)	k̚sa (くさ)	kusa (くさ)	k̚sa (くさ)
	蟻(あり)	aŋk̚u (あんく)	aŋk̚u (あんく)	?aŋk̚u (^あんく)	?aŋk̚u (^あんく)
ku:	九つ(ここのつ)	ku:nutei (くーぬち)	ku:nutej̥ (くーぬち)	ku:nutej̥ (くーぬち)	ku:nutei (くーぬち)
ke	けが	ge:gi (げーぎ)	kega (けが)	kiga (きが)	du:ge:gi (どうーげーぎ)
ko	鰻(くわ)	koitei (こいち)	koitej̥ (こいち)	koitei (こいち)	koitei (こいち)
ko:	井戸(いど)	ko: (こー)	ko: (こー)	ko: (こー)	ko: (こー)

3. 4. 2 軟口蓋音 /g/

/g/ は共通語の /g/ に対応している。

表 16 軟口蓋音 /g/

	語	古里・那間・叶	茶花・立長	朝戸・城	麦屋
ga	孫(まご)	?umaga (^うまが)	umaga (うまが)	umaga (うまが)	?umaga (うまが)
ga:	ぼった	ga:ta (がーた)	ga:ta (がーた)	ga:ta (がーた)	ga:ta (がーた)
gi	すすき	giej̥ki (ぎしき)	gieiki (ぎしき)	gieiki (ぎしき)	giej̥ki (ぎしき)
	蔭(かげ)	hagi (はぎ)	hagi (はぎ)	hagi (はぎ)	hagi (はぎ)
gi:	鋸(のこ)	no:gi: (のーぎー)	no:gi: (のーぎー)	no:gi: (のーぎー)	no:gi: (のーぎー)~ no:giji (のーぎい)
gu	鯨(くじら)	gu:dza: (ぐーぢゃー)	gu:dza: (ぐーぢゃー)	gu:dza: (ぐーぢゃー)	gu:dza: (ぐーぢゃー)
	唐辛子 (とうがらし)	a:gueu (あーぐしゅ)	?a:gueu (^あーぐしゅ)	?a:gueu (^あーぐしゅ)	?a:gueu (^あーぐしゅ)
ge:	けが	ge:gi (げーぎ)	kega (けが)	kiga (きが)	du:ge:gi (どうーげーぎ)
go:	垢(あか)	go:ra (ごーら)	aka (あか)	go:ra (ごーら)	go:ra (ごーら)

3. 5 声門音

声門音には、摩擦音(無声)の /h/ と声門閉鎖音の /ʔ/ がある。

3. 5. 1 声門音 /h/

/h/ は、母音 /a/ の前では [h] だが、母音 /i/ の前では口蓋音の [ç] で、母音 /u/ の前では両唇音の [p] で発音される。これらの音は、標準言のカ行子音 /k/ に対応している。また、[çima] (ひま:暇) のような共通語的な語に現れる。

表 17 声門音 /h/

	語	古里・那間・叶	茶花・立長	朝戸・城	麦屋
ha	紙(かみ)	habi (はび)	habi (はび)	habi (はび)	habi (はび)

	笠・傘(かさ)	hasa (はさ)	hasa (はさ)	hasa (はさ)	hasa (はさ)
hi	暇(ひま)	ma: (まー)	ma: (まー)	çima (ひま)	çima (ひま)
hi:	木(き)	çi: (ひー)	çi: (ひー)	çi: (ひー)	ei: (しー)
hu	腰(こし)	φuei (ふし)	φuei (ふし)	φuei (ふし)	φuei (ふし)
	蛸(たこ)	taφu (たふ)	taφu (たふ)	taφu (たふ)	taφu (たふ)
hu:	鋤(牛にひかすすき)	wu:dai (うーだい) ~φu:dai (ふーだい)	wu:di: (うーでいー)	wu:dai (うーだい)	ku:dai (くーだい) ~φu:dai (ふーだい)
he:	大工(だいく)	he:ku (へーく) ~çe:ku (ひえーく)	he:ku (へーく)	he:ku (へーく)	çe:ku (ひえーく) / çe:ku: (ひえーくー)
ho:	麴(こうじ)	ho:dzi (ほーじ)	ho:dzi (ほーじ)	ko:dzi (ほーじ)	ho:dzi (ほーじ)

ただし、共通語の /k/ (カ行子音) がすべて与論方言の /h/ に対応しているわけではない。/h/ になるのは、共通語の /k/ のうち広母音および半広母音の /a, e, o/ を伴う音節 /ka/ (カ), /ke/ (ケ), /ko/ (コ) の /k/ であって、狭母音 /i, u/ を伴う音節 /ki/ (キ), /ku/ (ク) の /k/ は与論方言でも /ki/ (き), /ku/ (く) で現れる。ただし、少数だが、共通語の /ka, /ke/, /ko/ の /k/ が与論方言で /k/ となるものがある。以下に、共通語と与論方言のカ行子音の対応関係とその例をあげておく。

表 18 共通語とのカ行子音の対応

共通語	カ行子音					
	ka (カ)		ki (キ)	ke (ケ)	ku (ク)	ko (コ)
与論方言	ka (か)	ha (は)	ki (き)	hi (ひ)	ku (く)	hu (ふ), ho (ほ)

表 19 カ行子音の共通語との対応の例

共通語	与論方言	語	茶花・立長	麦屋
ka	ka	鯉(かつお)	katsuo (かつお)	katsu: (かつー)
		貝(かい)	kai (かい)	kai (かい)
		墓(はか)	paka (ぱか)	paka (ぱか)
		お兄さん	jaka (やか)	jaka (やか)
	ha	紙(かみ)	habi (はび)	habi (はび)
	ha>a	風(かぜ)	hadi (はでい)	hadi (はでい)
		中(なか)	na: (なー)	na: (なー)
ki	ki	肝(きも)	kimu (きむ)	kimu (きむ)
		息(いき)	iki (いき)	?iki (ゝいき)
ke	ki	情け(なさけ)	nasaki (なさき)	kimukukuru (きむくくる)
	hi	毛(け)	çi: (ひー)	ei: (しー)
		木(き)	çi: (ひー)	ei: (しー)
		竹(たけ)	dai (だい)	dai (だい)
hi>i	酒(さけ)	sai (さい)	sai (さい)	

ku	ku	草(くさ)	kɯsa (くさ)	kɯsa (くさ)
		袋(ふくろ)	pukuru (ぶくる)	pukuru (ぶくる)
		大工(だいく)	he:ku (へーく)	ɕe:ku (ひえーく)
ko	ku	暦(こよみ)	kujumi (くゆみ)	kujumi (くゆみ)
		心(こころ)	kukuru (くくる)	kimukukuru (きむくくる)
	hu	腰(こし)	ɸuci (ふし)	ɸuci (ふし)
	ho	蛸(たこ)	taɸu (たふ)	taɸu (たふ)
		麴(こうじ)	ho:ɕi (ほーじ)	ho:ɕi (ほーじ)

上記のように、共通語の /ka/, /ke/, /ko/ は、与論方言では /ha/, /hi/, /hu/ (表の網掛け部分) になるのが普通だが、/ka/ になる例が少数ある。上の表に示した「鯉」、「情け」、「暦」、「心」は、新しく共通語から取り入れられた語形ではないかと思われる。「貝」は二重母音という音節構造が関係している可能性がある。なお、上の表で「木」を /ke/ に対応する欄にあげていのは、奄美祖語では「木」は *ke だったと推定されているからである(上村 1955)。「兄」も *ke にさかのぼるか。「墓」が [paka] である理由は不明である。

3. 5. 2 声門音 /ʔ/

声門閉鎖音の /ʔ/ は、「2. 1 短母音」のところでも述べたように、母音だけで音節を作るときに母音の前に現れることがある。また、接近音 /j/, /w/ では、以下に述べるように、/j/ と /ʔj/, /w/ と /ʔw/ がそれぞれ対立している。

3. 6 接近音

接近音には /j/, /w/ がある。

3. 6. 1 接近音 /j/

/j/ は硬口蓋の接近音で、共通語の /j/ に対応する。/j/ では、声門閉鎖 /ʔ/ を伴う /ʔj/ と声門閉鎖を伴わない /j/ が対立している。ミニマルペアの例として、[ja:] (やー:家) と [ʔja:] (^やー:綾), [ju:] (ゆー:湯) と [ʔju:] (^ゆー:魚) がある。これらは [ʔ] の有無の違いだけで区別されている。ミニマルペアではないが、[jo:ea] (よーしゃ:床下) と [ʔjo:] (^よー:洞窟) も /ʔ/ の有無の違いにより [jo] と [ʔjo] が区別されている。

表 20 接近音 /j/

	語	古里・那間・叶	茶花・立長	朝戸・城	麦屋
ja	山(やま)	jama (やま)	jama (やま)	jama (やま)	jama (やま)
ja:	家(いえ)	ja: (やー)	ja: (やー)	ja: (やー)	ja: (やー)
ʔja:	綾(あや)	ʔja: (^やー) / ʔaja (^あや)	ʔja: (^やー)	aja (あや)	gara (がら)
ju	枝(えだ)	juda (ゆだ)	juda (ゆだ)	juda (ゆだ)	juda (ゆだ)
	溝(みぞ)	jindzu (いいんぢゅ) ~jundzu (ゆんぢゅ)	jindzu (いいんぢゅ)	jundzu (ゆんぢゅ)	mizipai (みじっぱい)

ju:	湯(ゆ)	ju: (ゆー)	ju: (ゆー)	ju: (ゆー)	ju: (ゆー)
?ju:	魚(さかな)	?ju: (^ゆ)	?ju: (^ゆー)	?ju: (^ゆー)	?ju: (^ゆー)
je:	牛(うし)	je: nan (いえーなん)	je: nan (いえーなん) ~e: nan (えーなん)	?e: nan (^えーなん)	e: nan (えーなん)
jo:	床下(ゆかした)	jo: ea (よーしゃ)	jo: ea (よーしゃ)	juka (ゆか)	jo: ea (よーしゃ)
?jo:	洞窟(どうくつ)	?jo: (^よー)	?jo: (^よー)	無回答	jo: (よー)

/j/ はまた、子音の後ろに続いて、口蓋化した子音を作る。調査語の範囲では、次のような口蓋化子音が現れた。

表 21 口蓋化子音

	語	古里・那間・叶	茶花・立長	朝戸・城	麦屋
pja:	夫婦 (ふうふ)	atea'apja: (あちやあぴやー)	ateapja: (あちやぴやー)	ateapja: (あちやぴやー)	?atea'apja: (^あちやあぴやー)
pju:	昼(ひる)	pju: (ぴゅー)	pju: (ぴゅー)	pju: (ぴゅー)	pju: ma (ぴゅーま)
bja:	菰(こら)	bja (びやー)	bja: (びやー)	bja: (びやー)	bja: (びやー)
mja	猫(ねこ)	mjan̄ka (みゃんか)	mjan̄ka (みゃんか)	mjan̄ka (みゃんか)	mjan̄ka (みゃんか)
tja:	ちから	kja: (きやー)	tja: (てやー)	tja: (てやー)	tja: (てやー)
tju:	という	ti(てい)	ti(てい)	tju: sa (てゅーさ)	tju: sa (てゅーさ)
dju	戻る(もどる)	—	—	mudjun (むでゅん)	mudjun (むでゅん)
sja	杖(つえ)	gucanu (ぐしやぬ)	gucanu (ぐしやぬ)	gucanu (ぐしやぬ)	gucana (ぐしやぬ)
sju:	今日(きょう)	eu: (しゅー)	eu: (しゅー)	kju: (きゅー)	eu: (しゅー)
sje:	青年(せい ねん)	nice: (にしえー)	nise: (にせー) ~nice: (にしえー)	nice: (にしえー)	nice: (にしえー)
nja	腕(うで)	he: na (へーにや)~ hena (へな)	無回答	he: na (へーにや)	ke: na (けーにや)
nja:	お姉さん	?an̄na (^あんにや)	an̄na: (あんにやー)	an̄na: (あんにやー)	an̄na: (あんにやー)
rja:	糸瓜(へちま)	naburja: (なぶりやー)	nabure: (なぶれー)	naburja: (なぶりやー)	無回答
kja:	明明後日 (しあさって)	kja: riwa (きやーりわ)	kja: riwa (きやーりわ)	eiasatti (しあさってい)	無回答
kju:	月(つき)	teikkju: (ちつきゅー)	teikkju: (ちつきゅー)	teikkju: (ちつきゅー)	teikkju: (ちつきゅー)
kjo:	兄弟 (きょうだい)	kjo: dai (きよーだい)	teu: de: (ちゅーだい)	kjo: dai (きよーだい)	?tutudzabura (^うとぢやぶら)
gja:	茅(かや)	gja: (ぎやー)	kaja (かや)	gieiki (げしき)	gja: (ぎやー)
gju:	食べる	agjun (あぎゅん)	kore: ei (これーし)	korei (これい)	koren (これん)

3. 6. 2 接近音 /w/

/w/ は両唇の接近音で、共通語の /w/ に対応する。朝戸・城・麦屋では、声門閉鎖 /ʔ/ のある /ʔw/ と声門閉鎖のない /w/ が区別される。例えば、[wa:tea] (わーちゃ: 私たち) の [wa] と [ʔwa:] (ゎー: 豚) の [ʔwa] は別の音である。また、与論方言には /wu/ の音があり、母音の /u/ と区別されている。ミニマルペアの例として、[wutu] (ううとう: 夫) と [utu] (うとう: 音) がある。/wu/ は古典語の「を」に由来する音で、上の例は、古典語の「をひと (夫)」、「おと (音)」の区別を引き継いだものである。

表 22 接近音 /w/

	語	古里・那間・叶	茶花・立長	朝戸・城	麦屋
wa	私(わたし)	wanu (わぬ)	wanu (わぬ)	wanu (わぬ)	wanu (わぬ)
wa:	私たち	wa:tea (わーちゃ)	wa:tea (わーちゃ)	wa:tea (わーちゃ)	wa:tea (わーちゃ)
ʔwa:	豚(ぶた)	waŋka (わんか)	waŋka (わんか)	ʔwa: (ゎー)	ʔwa: (ゎー)
wu	夫(おっと)	wutu (ううとう)	wutu (ううとう)	wutu (ううとう)	ʔutu (ふとう)
wu	桶(おけ)	wui (ううい) ~ʔui (ふい)	wui (ううい)	wui (ううい)	ʔui (ふい) ~hui (ふい)
wu:	鋤(牛にひかすすき)	wu:dai (ううーだい) ~ʔu:dai (ふーだい)	wu:di: (ううーでいー)	wu:dai (ううーだ い)	ku:dai (くーだい)~ ʔu:dai (ふーだい)

/w/ はまた、子音の後ろに続いて、唇音化した子音を作る。調査語の範囲では、次のような唇音化子音が現れた。

表 23 唇音化子音

	語	古里・那間・叶	茶花・立長	朝戸・城	麦屋
kʷa:	桑(くわ)	kʷa:gi (くわーぎ)	kʷa:gi (くわーぎ)	kʷa:gi (くわーぎ)	kʷa:gi (くわーぎ)
	子(こ)	kʷa:(くわー)	warabikʷa: (わらびくわー)	kʷa:(くわー)	kʷa:(くわー)
gwa:	長男 (ちょうなん)	ʔujamuteigwa: (ゎうやむちぐわー)	ujamuteigwa: (うやむちぐわー)	çidabi (しだび)	eidaʔuiganukʷa: (しだふいがぬくわー)

3. 7 特殊音

特殊音には、撥音 /N/ (ん) と促音 /Q/ (っ) がある。これらは母音を伴わずに1つの拍を作る。撥音は鼻にかかる音で、後ろに両唇音の [p], [b], [m] があるときには両唇の鼻音 [m] に、歯茎音の [t], [d], [n] があるときには歯茎の鼻音 [n] に、軟口蓋音の [k], [g] があるときには軟口蓋の鼻音 [ŋ] に、後ろに摩擦音の /s/ , 母音 /a, i, u/ があるとき、および語末では、口のどこも閉じない鼻音 [N] になる。

表 24 撥音 /N/

	語	全地域
m	病気(びょうき)	jamme:(やんめー)
n	来年(らいねん)	janni (やんに)

ŋ	猫(ねこ)	mjaŋka (みゃんか)
N	牛(うし)	je:nan (いえーなん)

促音は子音を重ねる発音で、調査の範囲では、[tt], [kk], [tɕ], [ss], [ɕɕ] の促音が現れた。

表 25 促音 /Q/

	語	全地域
tt	四人(よにん)	juttai (ゆったい)
kk	月(つき)	tɕkkju: (ちつきゅー)
cc	灸(きゅう)	jatɕo: (やっちょー)
ss	筵(むしろ)	mussu: (むっすー)
ss	昼食(ひるめし)	?aɕci: (^あっしー)

4 音素目録

以上の音素の一覧をあげておく。

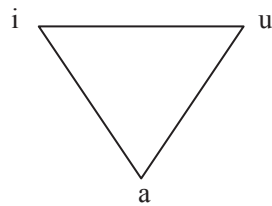


図 3 短母音音素

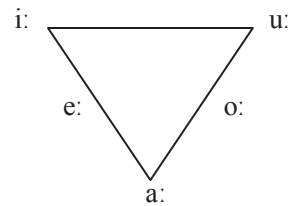


図 4 長母音音素

表 26 子音音素

調音方法		両唇	歯茎	硬口蓋	軟口蓋	声門	口蓋垂
破裂	無声	p [p~ɸ]	t		k	ʔ	
	有声	b	d		g		
鼻音		m	n [n~ɲ]				N [N~m~n~ŋ]
摩擦	無声		s [s~ɕ]			h [h~ç~ɸ]	
はじき			r				
破擦	無声			c			
	有声			ʃ			
接近		w		j			

5 音節

与論方言の音節の構造は, (O) (G) N (Co) である。(O は onset (頭子音), G は glide (わたり音), N は nucleus (中核母音), Co は coda (結び) を, () は任意であることを表す。)

音節の必須の要素は「中核母音」で, これに「頭子音」, 「わたり音」, 「結び」がついて, 1つの音節を作る。以下に音節構造と音節の例をあげておこう。

表 27 音節構造

O (頭子音)	G (わたり音)	N (中核母音)	Co (結び)
p, b, m	w j	a, i, u	Q
t, d, s, n, r		a:, i:, u:, e:, o:	N
c, ʃ		ai, oi, ui	
k, g			
h, ʔ			

音節の例

- | | |
|----------|-----------------------------|
| (1) N | i: (いー : 錐) |
| (2) ON | pa: (ぱー : 歯) |
| (3) GN | ju: (ゆー : 湯) |
| (4) OGN | k ^w a: (くわー : 子) |
| (5) NCo | aN (あん : 網) |
| (6) GNCo | waN (わん : 椀) |
| (7) ONCo | miN (みん : 耳) |
| (8) OGNC | agjuN (あぎゅん : 召し上がる) |

参考文献

- 上野善道 (1999) 「与論島東区方言の多型アクセント体系」 『国語学』 199 集
 上村孝二 (1955) 「奄美大島方言の発音について」 鹿児島大学紀要「文科報告」 4 号
 菊千代・高橋俊三 (2005) 『与論方言辞典』 武蔵野書院
 中本正智 (1976) 『琉球方言音韻の研究』 法政大学出版局